

補助犬学会第14回大会 12月10日開催のご報告と御礼

2022年12月10日土曜日に、無事に3年ぶりの対面開催となりました補助犬学会第14回大会を中部国際空港 セントレアにて実施することが出来ました。

大会前日には、中部国際空港株式会社主催、当学会共催として2014年より実施しております航空関係者向け車椅子セミナーを実施、多くの関係者にご参加頂き有意義な情報交換の場となりました。

12月10日土曜日11時からのイベントプラザでの盲導犬・介助犬・聴導犬のデモンストレーションにはセントレアの大きなクリスマスツリーが埋まるほどの多くの方に集まってご覧頂きました。

13時からのセントレアホールでの学会では、大会長講演として「犬と人をつなぐ、人と社会をつなぐ補助犬～人にも動物にもやさしく楽しい社会をめざして～」、その後、シンポジウム1「2020を振り返る～障害者・補助犬使用者がより航空機利用を身近に感じられるために～」、シンポジウム2「海外からの補助犬使用者の受け入れ～東京パラリンピックに向けての準備から受け入れ実態まで～」として、2020東京オリンピック・パラリンピックを開催するにあたり準備を進めてこられた現場の方々の声をお聞きすることが出来ました。2026年には愛知はアジアパラの会場となります。多くの障害者、補助犬使用者がセントレアを玄関に愛知に来られる準備として本学会のシンポジウムが有意義な情報提供とネットワーキングにつながったのではないかと思います。

その後、夕方は空港音楽祭の最後を、補助犬で締めくくらせて頂きました。介助犬音楽紙芝居で、介助犬の活動を紹介した後、サンタハットを被った盲導犬・介助犬・聴導犬のPR犬と共に、ミニクリスマスコンサートを開催、一足早いクリスマス気分を味わい、そのまま懇親会会場には60名近くの方にご参加頂き、何よりも全国からお集まりの補助犬使用者さんが使用者さん同士の、そして支援者の皆様との交流を楽しんでおられました。

これもひとえに、ご協賛賜りました企業・団体の皆様、無償で準備に明け暮れてくださったプログラム委員、当日は東京大阪から自腹で駆けつけて慣れない作業をお手伝い下さった20数名のボランティアの皆様のおかげと感謝申し上げます。

12月17日から1月末までは、前述の大会長講演、シンポジウムに加えて一般演題、ショートレクチャーもウェブ視聴として配信が始まります。大変多彩な、示唆に富んだ素晴らしい内容のご発表ばかりですので、是非、ご視聴頂き、多くの方にお広め頂きますようお願い申し上げます。

以上、ご報告と御礼申し上げます。

大会長 高柳友子
一般社団法人 日本身体障害者補助犬学会 理事
社会福祉法人 日本介助犬協会 専務理事